

研究・調査報告書

報告書番号	担当
411	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Alcohol drinking patterns and the risk of fatty liver in Japanese men (日本人男性におけるアルコール摂取パターンと脂肪肝リスク)	
執筆者	
HIRAMINE Yasunari, IMAMURA Yasushi, HOSOYAMADA Kaori, HIRAMINE Yasunari, UTO Hirofumi, KORIYAMA Chihaya, HORIUCHI Masahisa, OKETANI Makoto, IDO Akio, TSUBOUCHI Hirohito, KUSANO Ken	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
<i>J Gastroenterol</i> Vol.46 No.4 Page.519-528 (2011)	
キーワード	
アルコール摂取、脂肪肝	
要旨	
<p>アルコールは脂肪肝の主要因と考えられているが、適量飲酒の脂肪肝への保護効果を唱える説もある。そこで日本人男性 9886 名でアルコール摂取パターンと脂肪肝リスクの関係について調べた。質問票でアルコール摂取について調べ、摂取量を段階分けした (非飲酒者 0、軽度飲酒者 <20、適量飲酒者 20-59、重度飲酒者 ≥60 g/日)。脂肪肝は超音波検査で調べた。この結果、発症率は U 型カーブとなり、非飲酒者 44.7%、軽度飲酒者 39.3%、適量飲酒者 35.9%、重度飲酒者 40.1%であった。脂肪肝の発症はボディマスインデックス (BMI) 指数、肥満関連疾患と正相関、アルコール摂取量と逆相関が見られた。脂肪肝発症率とアルコール摂取頻度 (1 ヶ月で 21 日以上) には逆相関が見られたが、摂取量には見られなかった。持続的なアルコール摂取が脂肪肝に対して保護効果がある可能性が示唆された。</p>	